

令和7年度

「魅力かがやく学校・地域づくり」奈良県教育委員会教育長賞

葛城市立當麻小学校学校運営協議会と「いざ 當麻！まいる一む（参る一む）」における取組が受賞しました。

この表彰は、地域と共にある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指すことを目的に、学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取組に対し、奈良県教育委員会教育長が行うものです。

<取組名>

地域資産学習

～児童の主体的な学びを育む学校づくり 地域との協働的な取組を通して～



<主な受賞理由>

児童が地域を誇りに思い、主体的に学びに取り組む姿が広がるよう、地域資産を活用した学習や体験活動を教育課程に位置付けている。

地域と学校が共有する目標のもとで取り組み、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図りながら、地域の文化や歴史を未来へつなぐ力を育んでいる。

<取組の概要・成果・展望等>

葛城市立當麻小学校は、地域と共に歩み、地域に開かれた学校を目指すために「体験」と「対話」をキーワードに地域と共にある学校づくりを進めている。こうした学校の思いを受け、学校運営協議会では、学校の課題解決に向けた具体的な取組について協議している。また、「いざ 當麻！まいる一む（参る一む）」では、地域資産学習に焦点を当てた体験活動や創立150周年記念事業に基づく、地域の未来を子どもたちと共に考える学習の構築について考えている。その際、地域コーディネーターが両組織の架け橋になったり、学校運営協議会の委員が「いざ 當麻！まいる一む（参る一む）」や創立150周年記念事業の実行委員を兼ねたりして連携を密にしている。さらに、各大字の区長が取組等の情報を発信している。

地域資産学習では、當麻寺・相撲館・学校田お米マイスター・當麻音頭マイスター・木エマイスター・葛城市歴史博物館・葛城市防災士会・未来のまちづくり・地元企業などが学校のパートナーとして協働した活動を展開している。マイスターとは、特徴的な當麻の魅力を直接発信する方たちのことであり、その活動は児童の地域を愛する心の醸成につながっている。

地域資産学習を学びの軸に据えたことで、学校と地域はさらに協働するようになった。学校にとっては、体験を通じて子どもたちが多様な人や物事と出会うことにより、多角的な視点を養うとともに、対話を通じて他者との絆を深めることができた。また、教科書での学びを実践することによって学ぶ意義を実感し、学習意欲を高めることもできた。そして、体験と対話の積み重ねが学校をより楽しい場所に変え、学びの質を深化させている。一方、地域にとっては、子どもたちとの交流が生きがいや新たな活力につながっている。

子どもたちにとって、地域の宝を知り、その価値を発見した経験は、将来どこに行ってもふるさとを愛し、誇りをもって語れる礎となるので、これからも地域資産学習を教育の柱に据え、子どもたちの健やかな成長を願い、学校と地域づくりを進めていきたい。

おめでとうございます！

